

1 取り付け位置を確認する

設置上のお願

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機など接続する機器の電源を切ってください。

警告 工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

本機は屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水泳のつかない状態で使用してください。

- 以下のような場所での設置および使用はできません
- 雨や水が直接かかる場所（軒下などを含む）
 - ツールなど薬剤を使用する場所
 - 湯気やほこり、蒸気や油分の多い場所
 - 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
 - 放射線やX線および強力な電波や磁場の発生する場所
 - 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
 - 使用周囲温度（0℃～40℃）を超える場所
 - 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
 - エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンジが曇ったり、結露したりする場合があります）

使用しない場合は設置せず、必ず撤去してください。

設置作業の前に

- 本機を木製天井や壁面に取付ける場合は、付属の木ねじを使用してください。木製部以外に取付ける場合は、取付場所の材質や構造、総重量を考慮して別途ねじをご用意ください。
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。
- 石こうボードなど強度が弱い部分には取り付けしないでください。やむを得ず取付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの電源が入/切できるように電源工事をしてください。本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるように設置してください。もしくは、ACアダプターが容易にコンセントから抜けるように設置してください。

ネットワーク接続について
ネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

取付ねじの締め付けについて

- ねじは、取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めすぎると、ねじが折れたり、破損したりすることがあります。

木製用途以外の取付ねじは別途用意してください
本機に付属のねじは木製専用取付ねじです。取付場所のねじ引張強度は、1本あたり196 N (20 kgf) 以上必要です。カメラ本体内部のねじはゆるめると、故障や落下事故の原因となります。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

ルーターについて
本機をインターネットに接続する場合、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。本機を無線接続する場合、無線暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK(AES)がWPA-PSK(AES)を設定することをお勧めします。

時刻設定について
本機は運用開始前に時刻の設定が必要で、時刻の設定については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。

VCCIについて
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

カメラの取り付け位置を決める

重要 薄い板や石こうボードは強度が弱いため、取り付けには不向きです。どうしても設置したいときは、十分に補強してください。

重要 不安定な場所には設置しないでください。

重要 強い電界を発生する製品のそばには設置しないでください。

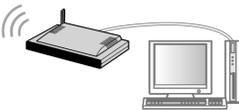
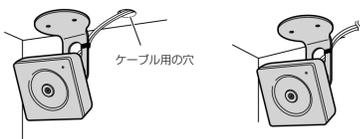
重要 熱源の近くには設置しないでください。

重要 湯気、塵がかかる位置には設置しないでください。

重要 強い電界を発生する製品のそばには設置しないでください。

ケーブルの通り方を決める

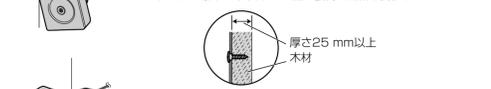
ケーブルを天井や壁の中を通すときは、ケーブル用の穴をあける必要があります。



- 無線接続をご利用になる場合は、取り付ける前に無線ルーターとの無線設定を事前に行ってください。
- 取り付け位置から無線ルーターに無線接続できるか、事前にご確認ください。詳しくは「3 カメラを接続する」を参照してください。

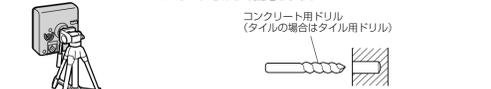
取り付け方を決める

■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。



■天井または壁の材質がモルタルやコンクリートのとき
設置したい位置が決まったら、市販のドリルと天井または壁取り付け専用のアンカー（ねじの呼び径 4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。

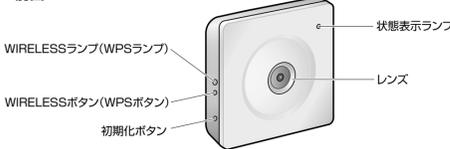
1. スタンドを設置したい位置に合わせてねじ（2か所）の取り付け位置に印をつけます。
2. 印に合わせてドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
3. カメラをねじで固定します。



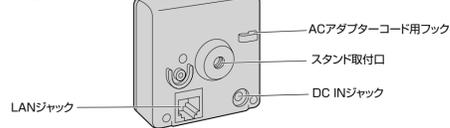
■三脚に取り付ける
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

2 各部の名前

<前面>



<背面>



初期化ボタンについて
本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データ、無線関連を含む設定が初期化されます。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

重要
● 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

状態表示ランプについて
状態表示ランプの詳細については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」の「基本設定を行う【基本】」を参照してください。

3 カメラを接続する

接続図

警告
■ 専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない
専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+の極性が異なっている場合があるため、発煙・火災の恐れがあります。

禁止

メモ
● 有線接続の場合に状態表示ランプが緑点灯しないときは、以下を参照してください。
→ 付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「故障かな!」

Ethernetケーブルを使用して接続する場合

- 1 Ethernetケーブル（市販品）をカメラのネットワーク端子とルーターのLANジャックに接続する
無線で接続する場合は、Ethernetケーブルをネットワーク端子に差し込まないでください。詳しくは「無線LANを使用して接続する場合」を参照してください。
- 2 ACアダプターのコードをカメラのDC INジャックに差し込む
- 3 ACアダプターのプラグをコンセントに差し込む

カメラの接続が完了したあとは、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

重要
● 電源を入れる前にEthernetケーブル（市販品）を接続してください。

無線LANを使用して接続する場合

本機のWIRELESSボタン（WPSボタン）を使って、無線の自動設定を行います。

- 1 本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せずに電源を入れる
電源投入後約90秒で状態表示ランプが点滅から点灯になり、本機が無線LANモードで起動します。
- 2 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PBC方式）をONにする
- 3 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）が点滅するまでWIRELESSボタンを約1秒以上押す
 - 本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約2分間動作します。
 - 無線の自動設定が成功すると、WIRELESSランプ（WPSランプ）が点滅から点灯し、約5秒後に再起動します。
 - 再起動中、WIRELESSランプ（WPSランプ）は消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度点灯します。



メモ
● 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）の点滅から約2分間経過後にも無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSランプ（WPSランプ）が約10秒間点滅したあと消灯します。この場合、無線設定は失敗しています。無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
● WIRELESSランプ（WPSランプ）の状態表示ランプの点滅灯を消灯したい場合は、「設定メニュー」の「基本」ページの「ランプ表示」を「消灯」に設定してください。

- 重要**
- 無線ルーターがShared Key認証方式に設定されているとWPS機能は使用できません。
 - 無線ルーター等でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を使用する設定になっている場合、WPS機能での設定はできません。
 - 「WPS設定」での設定中は、無線ルーターにおいて他の無線接続が一旦切断される場合があります。
 - 無線ルーターで、MACアドレスフィルタリングを使用する設定になっている場合、「WPS設定」での設定ができないことがあります。無線ルーターの設定を確認してください。
 - 無線ルーター等で、接続する無線LAN端末がない状態で「WPS設定」を行った場合、2分間で自動的にキャンセルされます。（ご使用の無線ルーターを確認してください。）
 - 同一ネットワーク上に複数のWPS-ON状態の無線ルーター（Registrar）がある場合、WPSの自動設定が失敗することがあります。

カメラの接続が完了したあとは、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

● 無線の接続状態を「設定メニュー」の「無線」ページの「ステータス」画面で確認してください。

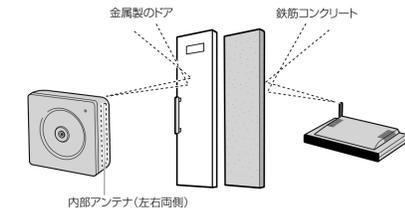
無線通信の使用範囲について

次のような環境で、機器と本製品を同時に使用しないでください。（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近くや、Bluetooth機器の近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください。（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
（電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波との干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）

- 金属製のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 壁を何枚も重ねたところ
- トタン製の壁
- スチール棚
- 防火ガラス



4 カメラを設置する

警告

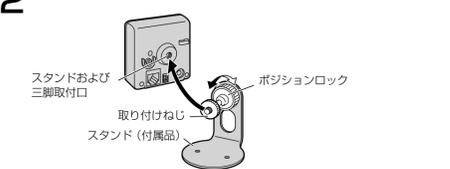
- 強度の弱い天井や壁には取り付けられない**
（石こうボード・ALC（軽集気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ25 mm以下のベニヤ板など）
- 落下して、けがの原因になることがあります。
- 禁止
■ 本体を十分に支えられ、振動がなく強度のある天井や壁に取り付けてください。

カメラを設置する前に、カメラの設定が完了していることを確認してください。「カメラを設定する」(チラシ)を参照してください。

スタンドに取り付ける

1 ポジションロックをゆるめて、カメラをスタンド（付属品）の取り付けねじで固定する

2 カメラの向き・角度を決め、ポジションロックを回して固定する



天井または壁に取り付ける

実際にPC画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

天井または壁にケーブル用の穴をあけずに配線したいとき

1 スタンド（付属品）の底を天井または壁にあて、スタンドを固定する場所を決める

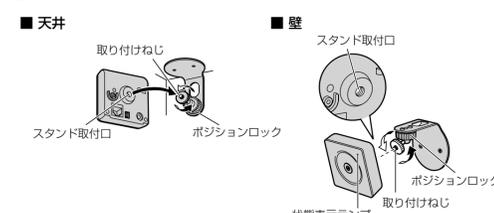
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏面に当板を使うなどしてください。

メモ
● 取付場所のねじ引張強度は、1本あたり196 N (20 kgf) 以上必要です。

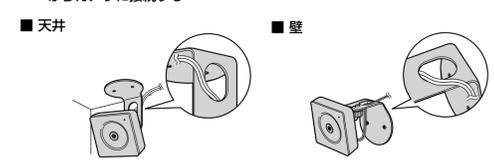
2 天井または壁にねじ（付属品）でスタンド（付属品）を取り付ける



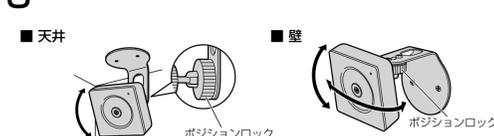
3 ポジションロックをゆるめて、スタンドの取り付けねじでカメラを取り付ける



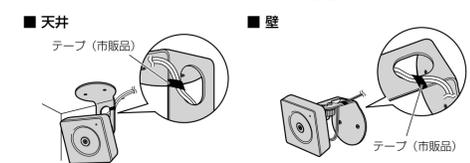
4 「カメラを接続する」を参照しながら、ACアダプター（付属品）とEthernetケーブル（市販品、有線接続の場合）をスタンドの穴に通してからカメラに接続する



5 カメラの向き・角度を調整して、ポジションロックを確実に固定する



6 ACアダプターとEthernetケーブル（市販品、有線接続の場合）をスタンド（付属品）にテープ（市販品）で固定する



天井または壁に穴をあけて配線したいとき

「天井または壁にケーブル用の穴をあけずに配線したいとき」の手順1のあと、天井または壁にケーブル類を通す穴をあけ、手順2～6に従ってカメラを取り付けてください。

